

**一般社団法人
プロジェクト結コンソーシアム**

第2期 事業報告

自平成24年1月1日 至平成24年12月31日

1. 事業報告

【法人設立の背景・目的】

震災で子どもたちの学び・遊びの場や機会が、大きく損なわれてしまいました。東北・日本の未来を担う子どもの成長の機会を一日も早く復旧させることはもとより、創造的で多様性に溢れる学び・遊びの機会を日本、世界の賛同団体や個人が皆で支える(やりたい人ができることをやれるだけ)ことができないか。また、子どもたちが主体性と希望に溢れ、自立心を持つ青年に成長する場に被災地を変革させることはできないか。そのような思いに基づき、私たちは一般社団法人プロジェクト結コンソーシアム(以下、プロジェクト結)を立ち上げました。

「被災地の教育の復旧≡震災前に戻す」ではなく、次代の成長を担う人材を豊富に輩出する「人材育成の先進地域」へと東北を再興し、日本における教育の新たなモデルを生み出す。震災後に立ち上げたにも関わらず、多くの教育委員会(23都府県・58市区町村の教育委員会等で構成される全国コミュニティ・スクール連絡協議会を含む)、地方自治体に賛同いただき、また、文部科学省がオブザーバー、鈴木寛元文部科学副大臣にアドバイザーとして支援いただいているのは、上記趣旨への賛同が背景にあります。

プロジェクト名の「結(ゆい)」とは、日本古来に伝わる、田植え・屋根葺き等一時に多大な労力を要する農や生活の営みを共同作業で行う制度です。「結(ゆい)」という名には、官民や地域の垣根を越え、被災地の創造的復興に知恵と力を出し合い、子どもたちの成長を皆で支えたいという思いを込めています。同時に、「結」は本団体が提供する価値も表します。それは、子ども、ご家族、学校関係者など被災した方々の様々な学び・遊びへのニーズと、賛同企業・個人のノウハウを適切にマッチング(結び合せ)することです。被災地のニーズをていねいに拾い、提供側の「押し付け」や「一回限り」にならない、継続的で実効性の高い学びの機会を多面的・複合的に提供することを結はめざします。

被災地では、現在も学習機会にきわめて大きな制約があります。たとえば、放課後に当たり前のように行っていた部活動。津波の難を逃れた校庭には仮設住宅が立ち、公園も復興拠点となり、多くの運動部は練習もままなりません。また、被災した子どもたちはばらばらの仮設住宅に移動し、慣れない場所から通学、友人とも離れ離れの毎日です。授業も施設、機材、人材の面から様々な制約が入っています。たとえば、石巻市では多くの現地企業が津波の被害に合い、中学で毎年行っていた職業実地学習の目処が立ちません。現地に入り込み、刻々と変わる細やかなこのような現地ニーズを感知したうえで、一人でも多くの子どもたちの成長を支えることが、プロジェクト結の活動の目的です。

【活動の概要】

(1) 日常支援事業

① みんなの場

放課後の子どもたちの「学びと遊びの場」を確保すべく、子どもたちおよび保護者さらに地域の方々とボランティアが継続的に集える「みんなの場」を、仮設住宅の集会所にて実施しています。

[実施実績]

- ・ 開成団地：2011年8月開始、週3回程度、ママスタッフ:3名、子ども参加平均:10～15名
- ・ 大橋団地：2011年9月開始、週3回程度、ママスタッフ:3名、子ども参加平均:10名前後
- ・ 南境7団地：2012年3月開始、週3回程度、ママスタッフ:2名、子ども参加平均:12名前後
- ・ 向陽団地：2012年2月開始、週1回、ママスタッフ:2名、子ども平均参加:15名前後
- ・ 押切沼団地：2012年6月開始、週1回、ママスタッフ:0名、子ども参加平均4～8名
- ・ 東北電子：2012年9月開始、ママスタッフ:0名、子ども参加数:10名前後

(2) 非日常支援事業

子供たちに希少性の高い非日常的な学び・遊びの場を提供することを目的に、日常支援活動を通じて吸い上げた現地のニーズを、被災地支援を希望する様々な企業／団体／個人とマッチングすることで、複数のイベントを企画・実行しています。

[主な事例]

- ・ アカデミーキャンプ 2012 夏 … 参加者:福島県の子どもたち 70 人(3 期計)
- ・ 横浜 FC 福島試合観戦 … 参加者:福島県の子どもたち約 1,000 人
- ・ 音楽鑑賞会(大谷地小学校) … 参加者:小学校の生徒ならびに近隣で暮らす住民の方々
- ・ アスリート派遣(石巻ライノスラグビースクール) … 支援対象者:石巻ライノスラグビースクール
の子どもたち
- ・ 子どものまち・いしのまき … イベント参加者:延べ 1,000 人以上
- ・ 開北小学校:スポーツ鬼ごっこ … 参加者:20 人程度
- ・ 橋浦小学校:狂言ワークショップ … 参加者:橋浦小学校 6 年生全員(17 人)
- ・ 石巻市子どもサミット 2012 … 参加者:石巻市の中学生 40 人
- ・ プロジェクト縫(手芸部) … 参加者:各会 10 人程度

(3) 学校サポート事業

小学校・中学校の先生方が、より子どもと向き合える時間を確保できるようになることを目的に、ボランティアレベルで対応できる事務業務等をプロジェクト結でお手伝いしています。

[主な事例]

- ・ EFC(Educational Future Center)の開設 … 開北小学校および鮎川小学校内に、先生方の“萬

相談所”スペースを開設。先生方と結スタッフのコミュニケーションの場や、先生方が自由に使用できるスペースとして活用いただいています。

- 学校のプール清掃応援：稲井中学校、貞山小学校、河南東中学校、鹿妻小学校 等
- 学校の図書整理：渡波小学校、開北小学校、大谷地小学校、鮎川小学校 等
- 学校のペンキ塗り：開北小学校、山下小学校(トイレ)、広渕小学校、鮎川小学校(遊具) 等
- 職業講話(キャリア教育支援)：桃生中学校、北上中学校 等

【附属明細書】

特に事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。